

「阿波ふうど情報」

(Vol.88)

発行：とくしまブランド推進機構

連絡先：電話088-634-2667

住所：徳島市北佐古1番町5-12 JA会館3階

<http://www.tokushima-kousha.jp/brand/>阿波ふうど
AWA FOOD

◆大阪鶴見花き地方卸売り市場の「イブニングクロック・オークション」の取り組み

夜7時鶴見花き地方卸売市場のセリが始まります。買参人のいないひな壇、セリ人の声もしない静かな空間で、掲示板の文字と針だけが動いています。青果・魚・食肉市場のセリ場では見られない光景が広がっています。
(徳島県関西本部 担当)

鶴見花き地方卸売市場は新型コロナウイルスの影響で4月15日から買参人の座るひな壇を閉めて、在宅ゼリを行っています。7月30日からはセリ時間を午後7時からに変更したイブニングクロック・オークションを開始しています。『人をとめて、物流をとめない』をスローガンにアフターコロナの対策を講じている「なにわ花いちば」の奥田社長と竹村部長にお話を伺いました。



セリ場の様子



カメラに向かって花を見せるセリ人

Q1. 在宅ゼリの導入に至った理由は？

一番は新型コロナウイルス対策です。毎日約250人、多いときで約400人のお客様がセリに参加するので、感染のリスクを考え、いかに物流を止めないかを探った結果です。また、夜に在宅ゼリ（イブニングクロック・オークション）を行うことで、お客様は翌朝商品を受け取ることができるので、その日に売り場に並べることができるようになりました。時間的にも余裕ができ、働き方改革に繋がっています。

Q2. これまでのセリと違いは？

商品の見せ方です。セリ人がカメラに商品を写し、お客様が確認します。セリ人は、マスクを着用し、声を出さずにカメラに向かって手や紙で残り箱数等を表示しています。

Q3. 在宅ゼリでの品質の判断はどのように行うのですか？新規産地は不利になるのでは？

お客様に信用いただけるようにセリ人が品質をしっかりチェックしています。新規産地は不利になるより、むしろ注目され、しっかり評価されます。出荷を継続していただけるように、展示スペースで日持ち試験や展示を行い、PRにつなげたり、産地と売り先をつなぐマッチングにも取り組んでいます。

Q4. イブニングクロック・オークションの買参人の反応、産地の反応は？

多くのお客様から参加しやすい時間帯との評価をいただき、お客様の数は増えています。他市場とセリ時間が違うことで、日本で一番最初に値段が決まることになり、建値市場としての役割を果たすと共に、今まで取引のなかった遠方のお客様からも注文が入るようになっていきます。商品の引き渡しができるようになり、商圏が半径約300km広がり、大阪から半径約900km圏内のお客様に商品を届けられるようになりました。

産地の皆様には、セリ時間が早まったことで、集荷の対応をしてもらっています。現在のところは、7割の商品が夕方セリに間に合うように着いていますが、残りの3割は箱数等の情報による販売となっています。

お客様から商品を見たいという声は多いので、花色や形が確認できる写真をカメラに見せるようにしています。産地の方には、着荷が間に合わなくても、草丈、ボリューム、等階級の細かい情報、色味の分かる写真があれば、安心して購入してもらいやすくなる（相場も出やすくなる）ので、できるだけ準備していただけるようお願いしています。

Q5. 買参人はどのように買っているのですか？

セリ前日の15時から当日の17時まではweb販売（相対による前売り）を行っています。時期や品目により異なりますが、総じて8から9割の商品が前売りされます。在宅ゼリの導入以来前売りの比率が上がっており、スムーズな販売に繋がっています。お客様はセリ当日の商品情報もwebで事前に確認ができるようになっています。商品が届いてない場合はwebページで商品情報を確認し、購入してもらいます。イブニングクロック・オークションが始まると、在宅ゼリLIVE（写真セリ画面1）と購入画面（写真セリ画面2）が立ち上がり、その2画面を見て購入するようになっています。



買参人が見ているセリ画面1



買参人が見ているセリ画面2

Q6. 産地に対する期待は？

コロナの影響は販売方法の変化だけでなく、業界の再編に影響することも考えられます。産地の強みを活かした販売方法を探りPRするいいチャンスになると考えています。私たちにとって、徳島はモノ・人とも深い繋がりのある産地です。協力できることがあれば、いつでもお声かけください。

本市場の商圏は大幅な広がりを見せており、多くのお客様に商品を提供できる仕組みが整いつつありますので、今後とも出荷をお願いします。

なにわ花いちば公式SNS

Twitter、Instagram、Facebook等で情報発信しています。
取り組みがより具体的にわかりますので
是非、アクセスしてみてください。



お忙しいところ御対応くださった奥田社長、竹村部長に厚くお礼申し上げます。